様式第59

（表）

<table>
<tr><td colspan="7">年　月　日

愛知県公安委員会　殿

氏　名</td></tr>
<tr><td colspan="7">猟銃等又はクロスボウ保管状況報告書</td></tr>
<tr><td rowspan="2">所持許可銃砲等</td><td>ライフル銃</td><td>ハーフライフル銃</td><td>散　弾　銃</td><td>空　気　銃</td><td>クロスボウ</td><td>替え銃身その他</td></tr>
<tr><td>丁</td><td>丁</td><td>丁</td><td>丁</td><td>本</td><td>丁・本</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="10">保管状況</td><td rowspan="7">銃砲等保管設備</td><td>設置年月日</td><td colspan="2">年　月頃</td></tr>
<tr><td>設置場所</td><td></td><td>部屋の施錠
有・無</td></tr>
<tr><td>種　別</td><td colspan="2">□金属製
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>型　状</td><td colspan="2">□厚さ1mm以上の鋼板で作られている
□施錠した際、かんぬき機構等により、扉の上下を本体に固定する構造である
□外部から見える蝶番が切断又は取り外されても、扉が外れない構造である
□設備の内部に鎖等によって銃を固定する装置を有している</td></tr>
<tr><td>施　錠</td><td>□シリンダー錠 □南京錠
□その他（　　）</td><td>箇所</td></tr>
<tr><td>固定状況</td><td colspan="2">□有
□無（盗難防止策　　）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">実（空）包等火薬類の保管状況</td><td>設置場所</td><td></td><td>部屋の施錠
有・無</td></tr>
<tr><td>同一建物内の保管</td><td colspan="2">□同一建物ではない
□同一建物である（例外的にのみ保管する。）</td></tr>
<tr><td>施　錠</td><td>□シリンダー錠 □南京錠
□その他（　　）</td><td>箇所</td></tr>
<tr><td>摘　要</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考　1　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。
2　「設置場所」欄は、応接間、表８帖和（居）室等と記載すること。
3　「施錠」欄の種別は、シリンダー錠、番号合せ等と記載すること。
4　保管場所の見取図は、家屋の見取図に保管庫等の位置を記載すること。
5　保管設備の状況は、銃砲等保管庫の設置場所の状況（遠景）並びに銃砲等保管庫及び実包等保管庫の写真（保管状況・固定状況・鍵の状況）を添付すること。

（裏）

銃砲等保管場所の見取図及び設備の状況
※ 家屋等の見取図を記載し、見取図内に保管場所を記載すること。 ※ 備考５に記載があるように、設置場所の状況および、銃砲保管庫、実包保管庫の写真を添付すること。 ※ 設置上の留意事項 ・同一建物内に銃砲保管庫と実包保管庫を設置する場合は、別の部屋に設置してください。（ワンルームの場合は、できる限り離して設置してください。並べて設置しないこと。） ・保管庫固定の際のビス留めは、保管庫の内側から行ってください。